

漁港修築事業 富来地区

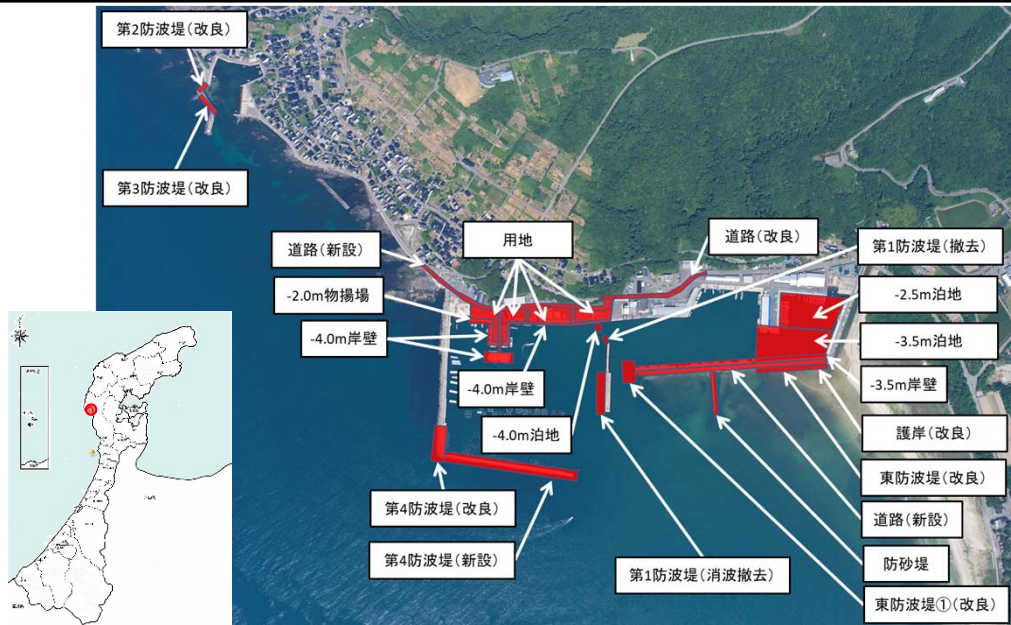
事業目的

本地区は、港内静穏度が十分に確保されておらず、荒天時には船体が損傷する被害や出漁機会喪失が発生していた。また、係留施設、漁港施設用地等の不足から、非効率な漁業活動を余儀なくされている。

このため、外郭施設の整備により港内静穏度を確保し、漁船の安全な係留や出漁機会の増加を図るとともに、係留施設、漁港施設用地等の整備により漁業活動の効率化を図る。

地区概要

- 箇所名：富来漁港 志賀町西海風戸、西海風無
- 工事内容：
 - 防波堤 L=336m、防波堤（改良）L=334m、防波堤（撤去）L=30m、防波堤（消波撤去）N=1式、護岸（改良）L=10m、防砂堤L=180m、泊地 A=28,000㎡、岸壁（新設）L=997m、物揚場L=115m、用地（埋立）A=13,480㎡、用地（舗装）A=9,000㎡、道路（新設）L=1,399m、道路（改良）L=270m
- 総事業費：5,162百万円
- 事業期間：平成14年度～平成29年度



評価結果

事業実施以前は、外郭施設や係留施設等の整備が不十分であったため、港内の静穏度が確保されていないことにより漁船の耐用年数の減少、作業や航行に時間が要するといった問題があったが、本事業による外郭施設や係留施設等の整備により、漁業活動の効率化等の改善等が図られた。

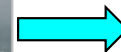
写真で見る事業効果



波浪により港内静穏度が悪化



波浪による港内への越波状況



防波堤の整備により、港内の静穏度を確保し、畜養・養殖を実施



漁船の係留状況

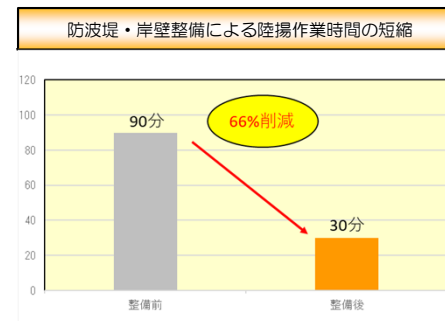
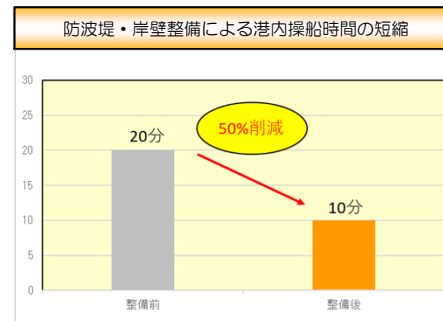


係留施設が不足しているため、泊地に停泊する漁船



係留施設を整備し、漁船の係留箇所を確保

数字で見る事業効果



— 漁業者の声 —

- ・外郭施設の整備により、港内静穏度の向上したことで、航行や陸揚等の作業がしやすくなった。
- ・外郭施設の整備により、越波が少なくなり、漁船等の被害が軽減された。
- ・用地の整備により、漁具補修の作業スペースが増え、作業がしやすくなった。

今後の取組

本事業により、港内静穏度の向上や陸揚等漁業活動の効率化が図られた。今後は効果を長期的に発現させていくために、施設の長寿命化対策と計画的な維持管理が重要である。